

桜花の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員の皆様には益々ご清福の段、大慶に存じます。また日頃より皆様には当支部運営について格段のご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げますねばなりません。

さて日本選手団が大活躍した平昌オリンピックも終わり、20年前の長野オリンピックでの10個のメダルを超える金銀銅の各メダルを獲得したとの事で、誠にご同慶の至りです。

この五輪ほどナショナリズムをかき立てるものは外に知らず、メインポールに上がる「日の丸」と、同時に流れる「君が代」を口ずさみ乍ら目頭を熱くして、「日本人として生まれてきて本当に良かった」と感じるのには私一人ではないものと考えます。

そして「こんなとき同じ日本人のはずなのに、国旗や国歌を否定する左翼の連中はどう感じているのかな？」等と素朴な疑問が湧き起こるのもまた事実です。人間の多様性を否定するものでは決してなく、同じ旗の下に相集い、同じ目的の為に団結し、その目的達成の為に努力する姿に、私は一同胞として感動致しますが、国旗や国歌を認めぬ人達にとって平昌五輪は、全くつまらぬイベントの一つでしかない事でしょう。(笑)

去る2月9日の宮崎支部総会には熊谷新田原基地司令や稲田24連隊長を始め、防衛県議連からは右松、野崎両県議など内外多数のご来賓のご臨席を得て、支部会員とともに盛大に開催することが出来ましたことを改めて御礼申し上げます。また翌10日は陸上自衛隊高等工科学校同窓会「桜友会全国大会」が埼玉県志木市で開催され、旧知の方々と旧交を温めながら、楽しい一夜を過ごすことができました。

今月は趣向を変えて、面白そうな本の中から抜粋した一文を掲載致しますので是非ご一読頂いた上で興味をそそられた方は、ご一報を賜れば喜んでこの本をお貸し致します。

## 平和ボケお花畑を論破するリアリストの思考法

渡邊哲也著・飯塚書店

お花畑な人は「憲法9条があるから、これまで日本は戦争に巻き込まれずにすんだ。だから、9条だけは絶対に死守しなければならない」と言う。明かな間違いである。日本が平和を維持することだできているのは、「9条があるから」ではなく、「自衛隊を持ち、日米安全保障条約に基づいてアメリカの安全保障の傘の下にいたから」である。「9条があるから」と遠慮する外国などない。

お花畑な人は「憲法を守れ！ 憲法を改正してはいけない！」と叫ぶ。これは大いなる錯誤である。というか、無知のレベルだ。憲法には憲法改正の手續について規定する96条がある。改正まで含めて憲法である以上、「憲法改正はいけない」というのは、憲法改正の手續について定めた96条も否定することになってしまい、「守る」と言っているはずの現行憲法を否定することになる。

お花畑な人は「安倍政権は国民の声を無視して暴走している。これは立憲主義の冒涇だ」と叫ぶ。本当に自分の言っていることを分かっているのか。これは基本的大間違いである。無知や勘違いではない。分かっているが撒き散らす大ウソである。大学教授までこんなことを言うんだから、恥を知らなさい。

民主主義というのは基本的に多数決が原則であり、安倍政権を選択したのは紛れもなく国民の意思である。じっさい「国民の意思を無視して暴走」などしていないし、民主主義国家の日本ではそもそも政権の暴走などできっこない。ところが、民主党政権は本当に暴走したんだから、ものすごい時代だった。

普通選挙が国民の意思表示の最大の手段である。立憲主義の上位の概念として民主主義がある。普通選挙による多数決という民主主義の原則を規定しているのも憲法である。そのため、選挙を通じて選ばれた政権が政策を実行するというのは立憲主義の冒涇でもなんでもない。三権分立が機能し普通選挙が行われている国において、独裁などありえないのである。民主党時代にあったけど。

だから、「ノーモア民主党」というのなら分かるが、「安倍政権は国民の声を無視して暴走している」というのは、子供の悪口以下の戯言であり、相当恥ずかしいことだと思う。民主主義の日本では選挙の結果がすべてであり、それが唯一の答えとして機能する。立憲主義の冒涇はお花畑の人たちがやっている。以上

著者の誠に判りやすく明快な論理展開に「目から鱗」の思いで読み進みましたが、今まで憲法学者が宣った憲法解釈の何と判りづらいことかと、改めて感じた次第です。

ところで一昨年より皆様にもご協力頂きました「美しい日本の憲法をつくる会」主宰の「1千万人憲法改正賛同者署名」が先月の1月をもって達成し、改めて御礼申し上げます。また安倍首相が年頭に「政治家には憲法改正を実現する責任があり、いま実現する時を迎えている」との力強い発言を受けて、自民党は3月25日の党大会で自衛隊明記を始めたとする改正案と、国民投票に向けた運動方針を発表すると仄聞しています。

先月16日「自民党宮崎市支部新春政経懇談会」に来宮された元防衛大臣中谷元代議士は憲法審査会幹事でもあり、本会に先立って開催された少人数の懇談会席上、特に憲法の早期改正について日本会議宮崎理事長の立場から強く要望したところです。

いよいよ花粉症の季節到来につき既往症でお困りの方は万全の準備をして、このつらい時期を乗り切って頂くよう願ってやみません。何卒呉々もご自愛専一にお過ごし下さい。

平成30年3月1日

宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部長 小倉和彦